

第9回 全国高等学校 ビジネスアイデア甲子園 応募用紙

提出日 2010年 月 日

ビジネスアイデア名	オーダーメイド・ブックストア
アイデアの内容	<p>< 記入のポイント > ① アイディアの概要(どのようなものですか) ② アイディアを思いついたキッカケ ③ これまでのものとの違い ④ 商品やサービスなどのイメージ図 などを織り込んでまとめてください</p>
<p>店内に本は一冊もなく、ATMのような機会がたくさん並び、その脇にテーブル、イス、飲み物の自動販売機が並びまちあい室のような空間が広がっています。入口と出口は同じですが、入るときに整理番号付きのカードをわたされます。どうやって本を買うのかというと…機械はどれでもいいので、まず入口で受けとったカードを読みとり口にかざします。すると画面にメニューのようなものが出るので、ここから本選びを始めるのですが、ここからが普通の本屋さんと違うところです。普通の出版されている本はもちろん、なんと自分の興味のある資料をあつめたオリジナルの本が買えるんです。これは何かというと、例えばある人は「お菓子レシピ」の本がほしいのですが、本はたくさんある中でどれをえらんだらいいのかわかりません。本によっては高級なものから庶民的なものまでのっているものもありますが、ぶ厚い本はかさばってしまう…。そこでこの「資料検索」機能が役に立ちます。</p> <p>ある人を仮にAさんとして、Aさんはある家庭の主婦で、子どものおやつにちょうどいい「手軽な」「おやつ」の「レシピ」を探しにきました。「手軽」「おやつ」といった本は出版されていますが、どれも100ページをこえてしまったり、気軽に手の出せるものでなかったり、ちゃんとした本という理由だけで気がひけてしまう人だっているはずです。この「資料検索」機能を使うと、インターネットのようにキーワードを入力するだけで細かい検索結果が出て、そこからどの資料が必要なのかを選び、そこで集めた自分だけの資料が本になるというものです。そうして本の中身が決定したら、本の仕様設定に移ります。出版社の発行する本については変更はできないので、ここではオリジナルの本を作る時の本の表紙やオプションなどのデザインについて自分の好きなように(限度はありますが)することができます。表紙の紙・色、紙のサイズ、文字を入れたり、もちこみで表紙にイラストを入れてみたり…。作る人次第ではオリジナリティあふれる本ができあがります。</p> <p>全ての作業が終了した時点で、レシートが出るのでそれを取り、脇にあるまちあい室に移動します。本ができるまでに5分~かかるため、そこで時間をつぶせるように、自動販売機や売店など、もちろん飲食物のもちこみも可です。天井近くにある電光掲示板に最初に受けとったカードか、レシートにある整理番号が表示されれば、本ができあがっている合図です。出口近くにあるカウンターでカードとレシート(レシートはなくてもOK)をわたし、そこで料金を払うと、できたての本がわたされます。カードはそのまま返却、領収書はそこでもらって下さい。(必要なら)以上が一連のながれになります。</p> <p>このアイデアを思いついたきっかけは、私自身様々な本を買ったりしていて、特に上記に出たようなレシピの本は大きさにバラつきがあるので、収納が不便だと思ったこと、それから、一冊の本には(人によって思いますが)自分に必要ない部分…なんていうものがあるかな…資源のムダかな? と思ったこと。この2つが主なきっかけです。これまでの本屋さんとは全くちがった「オーダー方式」で、オリジナルの本棚を彩る本を作りませんか?</p>	

《 注意事項 》 応募は、本紙またはコピーを使用してください。
 応募要項および応募用紙は当センターへご請求いただくか、「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」ホームページ
 【大阪商業大学】◆【リエゾンセンター】◆【アイデア甲子園】(http://ouc.daishodai.ac.jp/research/high_school/business_idea/)からダウンロードしてください。
 追加資料をつけても構いません。ただしA4・1枚のみ。※規定を超えるものについては審査の対象外となりますのでご注意ください。